

# 山雲水月

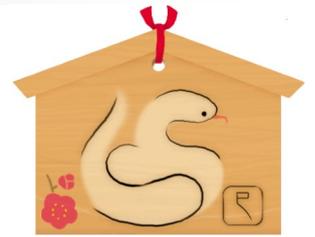
発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 平成25年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/10 大般若会併大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬(一泊二日) 第32回子供禅の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- ※10/19檀信徒参拝研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催  
宗務所執務日は月水金曜日

## 平成25年癸巳 住職年頭挨拶

### 謹賀新年



「この道を行けばどうなるものか  
危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし  
踏み出せば その一步が道となり  
その一足が道となる 迷わず行けよ 行けばわかるさ」  
禅僧・一休宗純（室町時代）

新年、明けましておめでとうございます。  
年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。冒頭の言葉は、プロレスラーであるアントニオ猪木氏が紹介したことで有名になりました。諸説はございますが、室町時代の禅僧で一休さんとして親しまれた、一休宗純和尚の言葉と伝えられております。  
進むべき道に迷うこと、誰しも経験があることと存じます。しかしながら、必ず前へ前へ一歩一歩進み出すことが肝心です。「よき道ならばよし、わるき道ならまたそれもよし」、そんな境地で、今年も皆様方と共に前へ前へ歩んで行ければ、ありがたいと思っております。  
本年も、何卒宜しくお願い申し上げます。合掌。

## 平成25年 年回表

一周忌	平成二十四年	二十三回忌	平成三年
三回忌	平成二十三年	二十七回忌	昭和六十二年
七回忌	平成十九年	三十三回忌	昭和五十六年
十三回忌	平成十三年	五十回忌	昭和三十一年
十七回忌	平成九年	百回忌	大正三年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。  
(但し、百回忌を除きます)

# 平成24年10月4日修行 龍源寺諸法会等報告

## ①特派布教師巡回法話会

→ 御法話風景



↑市川公淳特派布教師

曹洞宗群馬県第14教区（多野藤岡及び一部高崎地域）の特派布教師巡回の寺院に、初めて当山が選ばれました。特派布教師老師は管長猯下の御代理として日本全国は勿論、日系人の多いハワイや南米地域にも巡回いたします。

今回は、青森県南津軽郡藤崎町の昭傳寺御住職・市川公淳老師が見えられ、ご法話を頂戴いたしました。参加された檀信徒の方より、判りやすく、ありがたい御法話との声が寄せられました。

## ②十三重石寶塔開眼会法要

→ 立行にてお唱え



↑開眼会法要導師 全林寺御住職  
群馬県第14教区長 田川義昭老師

法話会に引き続き、白田實翁（松田）発願により当山本堂前に建立されました

十三重石寶塔の開眼会法要が、第14教区長・全林寺御住職田川義昭老師のご導師の下、修行されました。

開眼会法要では、当山及び仁叟寺梅花講の講員の皆様方によるご詠歌も唱えられ、また参列者全員による焼香も賜りました。随喜ご寺院様始め、関係各位にはお世話になりました。改めまして御礼申し上げます。

## ③臨時檀信徒総会



↑小林茂前総代長



↑出牛裕一新総代長



↑木村照夫新総代人

開眼会法要の後、本堂にて当寺臨時檀信徒総会を開催いたしました。今臨時総会にて、小林茂総代長（矢田）が退任となりました。後任には、総代人の出牛裕一氏（松田）が新総代長に、また、木村照夫氏（矢田）が新総代人に、それぞれ満場一致で選出承認されました。

小林茂翁には、平成19年からおよそ6年間に亘り、当山の護持運営にご尽力賜りました。総会では、大本山總持寺貫首猯下よりの感謝状及び当山よりの記念品を贈呈し、その労いをさせていただきます。有難うございました。

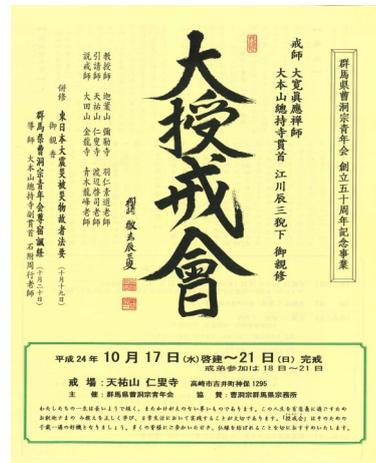
小林茂翁には、平成19年からおよそ6年間に亘り、当山の護持運営にご尽力賜りました。総会では、大本山總持寺貫首猯下よりの感謝状及び当山よりの記念品を贈呈し、その労いをさせていただきます。有難うございました。

同法会には、50名程の檀信徒の皆様方にご参列戴きました。有難うございました。合掌。

# 群馬県曹洞宗青年会主催大授戒會、無事圓成！

広報ほか文書などで御案内申し上げましたとおり、昨年10月17日より21日の5日間に亘りまして「大授戒會」が仁叟寺にて修行されました。主催は、群馬県曹洞宗青年会（会長・山端耕之師）で、創立50周年を記念して開催いたしました。ほか、同会では50周年事業として劇団四季を招聘してのチャリティミュージカルを5月に、記念祝賀会を11月にそれぞれ開催いたしました。なお、チャリティミュージカルの収益と県内各所にての数回に及び托鉢の浄財は、昨年9月の研修旅行にて、被災地東北三県の各青年会に支援金としてお渡しいたしました。

大授戒會では、大本山總持寺貫首江川辰三禪師猯下が戒師及び東日本大震災物故者供養法要導師をお勤めになり、ほか三師と呼ばれる重要なお役の教授師を沼田市迦葉山山主羽仁素道老師、引請師を御本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師が勤めました。また説戒師は太田市金龍寺青木龍峰老師が、青年会会員物故者供養法要を大本山總持寺副



↑ 大授戒會ポスター



戒師 大寛眞應禪師  
大本山總持寺貫首 江川辰三猯下

貫首・大雄山山主石附周行老師がお勤めになられ、県内御寺院様諸老師及び青年会会員諸師約70名と共に、大法会を修行いたしました。

正戒参加者は約70名。亡戒参加者約200霊、寺族得度者25名が、今法要に於いて、ありがたい法縁を結ばせていただきました事、感謝申し上げます。

仁叟寺では、同じく群馬県曹洞宗青年会30周年の際に修行されてから20年振りとなる大法要でございました。江川禪師猯下始め多数の方々をお迎えする法要であり、戒場となる仁叟寺では、本堂裏廊下の整備、須彌壇改修、坐禅堂畳替等、準備に向けて山内の整備をされました。参加されました戒弟様お手伝いいただきました当山及び仁叟寺梅花講講員様始め、関係各位には改めましてお慶びとご慰労を申し上げる次第です。



引請師  
渡辺啓司老師

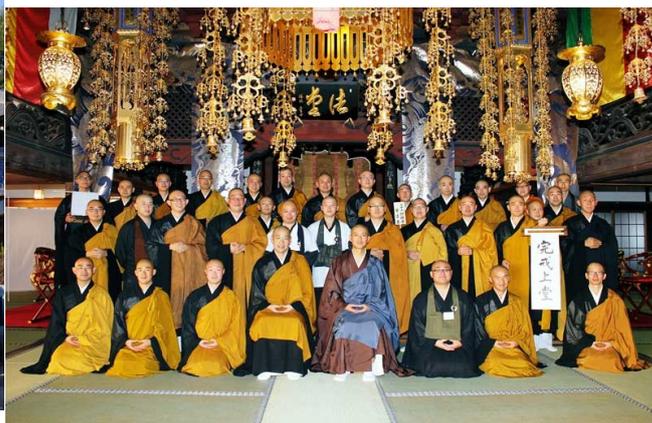


教授師  
羽仁素道老師



説戒師  
青木龍峰老師

## ↓ 法会を主催した群曹青会員諸師



群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念事業 大本山總持寺貫首 江川辰三猯下御親修 大授戒會  
平成24年10月17日菩提〜10月21日完成 戒場 高崎市仁叟寺

# 仁叟寺通信 - 36 -

## ～本尊釈迦三尊像修復開眼会法要他仏像展～



導師・曹洞宗宗務総長  
佐々木孝一老師

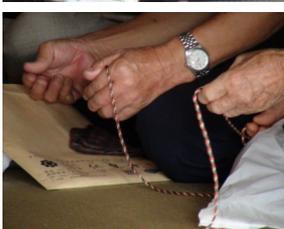
昨年9月17日に、曹洞宗宗務総長・佐々木孝一老師大導師のもと仁叟寺御本尊釈迦三尊像ほか諸仏像修復開眼会法要が修行されました。佐々木老師はじめ県内外40名の諸老師のほか、檀信徒およそ200名を超える方々がご参集下さり、同式は盛会裏に無事圓成することが出来ました。改めまして、厚く御礼申し上げます。

この度の修復開眼会法要は、平成15年よりコツコツと始めさせていただいておりました仁叟寺の諸仏像の修復事業の集大成ともいえる法会でした。15体の仏像他尊像の修復開眼を勤め、特に檀信徒の皆様方に於かれましては、本尊釈迦三尊修復事業にご理解ご協力を賜りましたこと、ありがたく思っております。

また、15体の仏像の内6体が高崎市指定重要文化財という事もあり、寺院の宝である事は勿論、地域の大切な文化財という趣旨もあり、仁叟寺護持会主催にて、引き続き「仁叟寺仏像展」を17日の修復開眼会法要後より23日の一週間に亘り開催いたしました。高崎市教育委員会、上毛新聞社、吉井町仏教会も後援としてご協力いただき、秋彼岸会には約800名の方々がご参拝に訪れて下さいました。同展に於きましては、仁叟寺総代人・世話人の方々が持ち回りでお手伝いに来て下さり、開眼会法要と同様に盛会裏に勤めることが出来ました。関係各位、ありがとうございました。

檀信徒の皆様方及びご協力いただきました方には、修復の経緯を克明に記した冊子のほか記念品を用意いたしました。まだお手許にない方は、修復し一新されましたご本尊様に参拝していただき、記念品ほかを受け取っていただければと思います。宜しくお願い申し上げます。

↓法要の一齣（当日はおよそ200名を超える檀信徒の皆様がご参集下さいました）



- 仁叟寺仏像展 展示尊像
- ① 迦葉尊者立像(江戸時代・高崎市指定重要文化財)
  - ② 本尊釈迦如来坐像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
  - ③ 阿難尊者立像(江戸時代・高崎市指定重要文化財)
  - ④ 文殊菩薩坐像(江戸時代)坐禅堂本尊
  - ⑤ 阿彌陀如来立像(江戸時代天明年間)観音堂本尊
  - ⑥ 宇賀弁財天像・關子入(江戸時代)庫裏守護
  - ⑦ 毘沙門天像(江戸時代)庫裏本尊
  - ⑧ 聖観世音菩薩立像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
  - ⑨ 十一面観世音菩薩立像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
  - ⑩ 妙見菩薩立像・關子入(江戸時代)庫裏守護



→ 参拝者に配布いたしました資料

# 仁叟寺仏像展

本尊釈迦三尊像修復記念

高崎市指定重要文化財他の修復された諸尊像が拝見できます

2012年  
日時 9月17日(月)～23日(日) 午前10:00～午後4:00

会場 仁叟寺本堂  
〒370-2123 群馬県高崎市吉井町神保1295

■主催 仁叟寺護持会  
■後援 高崎市教育委員会  
吉井町仏教会  
上毛新聞社

# 自らを洲とする～東日本大震災被災地支援報告

## 宮城県七ヶ浜にて慰霊法要



↑宮城県七ヶ浜町 養松院様

→  
今なお復旧が望まれる  
津波の爪痕が遺る  
門前



昨年11月1日に、住職が大本山總持寺修行時代の同安居の縁のある寺院、宮城県七ヶ浜町の養松院様に伺い、同安居有志と共に東日本被災物故者慰霊法要を修行させていただきました。養松院様の副住職は、津波に車ごと流されましたが、九死に一生、無事自力で脱出することが出来たそうです。また、その際に同じ町に住んでいらっしゃる当山檀家の寺尾・中澤両家のご親戚である鈴木さんにお会いする機会にも恵まれました。共にご冥福を祈念申し上げます。

参加された同安居の中には、岩手県山田町より見えられた宗侶長嶋師もおり、彼の副住職地はほぼ全ての伽藍が流されたとのこと。慰霊法要前日の10月31日には、同安居会即眞会（会長・野口達朗師）の総会も開催され、その席上にて、被災状況や今後の展望などの報告を伺う機会にも恵まれました。慰霊法要では、長嶋師が流された後に偶然に見つかったという「法螺貝」を吹き、のち読経諷経を勤めさせていただきました。

同じ時間を共に過ごした仲間が、今現在、復旧復興に向かって頑張っておられます。拙僧も出来る事を出来る範囲で勤めさせていただこうと思っております。

## シロアリ対策補修工事完了

既に寺報や臨時総会の席上でもお伝えした通り、昨年に本堂の東側の柱及び床下の一部が、シロアリの被害に遭っている事が判りました。一昨年の庫裏に引き続きのシロアリの被害、早速、昨年6月下旬より檀信徒の大工・加部元信氏に見て頂き、早期の修繕を依頼。8月盆前に無事修繕が完了しました。

併せて、歴代住職及び弟子の位牌堂を増設いたしました。本堂にある檀信徒専用の位牌堂がお陰様で満杯となり、これを機に歴代住職ほかの位牌堂を新たにさせていただきました。工事には、加部様のほか、檀信徒の田中左官工業様、田中塗装様、神部住宅設備様、榊原畳店様等に依頼。また、本堂・庫裏・檀信徒会館ほか山内全ての建物のシロアリ消毒を、神部様に依頼。皆、菩提寺の為に、非常に快く受けていただき、昨年秋に工事が完了いたしました。

本堂・庫裏共に、檀信徒はもとより地域の方々の協力をもって改修補修を進めております。しかしながら、将来的に考えますと本堂は特に老朽化が進んでいるように見受けられます。これからの事をしっかりと見据え、共にいい方向に進めていきたいと考えております。



龍源寺歴代住職及び弟子位牌堂↑

## 参拝研修旅行 ～大本山總持寺御礼拜登～



大本山總持寺御拝問檀信徒参拝研修旅行 平成24年10月27日

秋の檀信徒研修旅行が10月27日に開催されました。毎年、10月の第三土曜日に開催しておりますが、今回は「大授戒會」が仁叟寺にて修行されましたので、第四土曜日に変更となりました。

今回は、大本山總持寺様へ、大授戒會の御礼を兼ね研修参拝をさせていただきました。参加者は50名ほどでしたが、大授戒會に参加されました仁叟寺檀信徒の皆様方は、全て参加されました。

大本山總持寺様では、ご多忙中にも関わらず、江川辰三禅師猊下が見えられ、紫雲臺相見の間にて参加者へご垂示賜る貴重な法縁をいただきました。また、大本山總持寺監院乙川映元老師もその場に見えられ、禅師様と共に記念写真もご一緒することが出来ました。謹んで御礼申し上げます。ありがとうございました。

参拝の後、大本山總持寺三松閣にて精進料理のお膳で点心(昼食)をいただき、平間寺様(川崎大師)、高岩寺様(とげぬき地蔵)へも伺い、参拝申し上げます。特に、とげぬき地蔵様に於かれましては、同じ洞門ということもあり、住職様より過分な展待をいただき、且つまた参加者一人一人にお土産を頂戴いたしました。来馬住職様は医師でもあり、禁煙運動の先駆けをつとめ、広く活躍をされております。境内は勿論、とげぬき地蔵門前の商店街も全て禁煙になっておりますのも、住職様のなみなみならぬご尽力もあつたと伺いました。

この度の研修旅行も多数の方々にご参加くださいました。秋の恒例の寺院行事となつてございませう同旅行に、まだ参加されておられない方は、是非ご参加いただきたく思います。

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

明けまして、おめでとうございます。昨年は、当山にて特派布教師巡回法話会、十三重石寶塔開眼会法要、臨時総会が、副住職地仁叟寺にて本尊釈迦三尊修復開眼会法要・仏像展、群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念・大授戒會等々、大きな諸行事が修行され無事圓成することが出来ました。檀信徒はじめ関係各位に対し、改めまして御礼を申し上げます。

また、施食会法要に講師として見られました村上邦久棟梁様が、講演の際にお話し申し上げました「龍源寺紹介DVD」が、無事完成し、昨年の臨時総会の折に、新旧総代人さんよ

り皆様方へと頒布することが出来ました。同じく御本寺仁叟寺様の紹介

DVDも完成し、こちらは本尊修復開眼会法要の際に頒布することが出来ました。

まだご覧になられておられない方は、是非一度ご高覧いただきたく存じます。合掌。



↑ 龍源寺及び仁叟寺紹介DVD